



多くのホール関係者が詰めかけた展示会場

A/使い勝手のよい機能を実装する『エヴォールクラウド』 B/液晶部が段階的に転回する『エヴォールスマートユニット』
C/『エヴォールスマートセルフ交換機』景品交換と残高精算が一連操作で完結する D/『エヴォールスマートウォッチ』が接客機会を創出する



カード残高の精算まで、その場で完結できる業界初のシステムだ。モデルチェンジした『エヴォールPOSシステム』や『エヴォールカードリーダー』と連携する。PS専用景品の払い出しに

マースエンジニアリングが新製品発表展示会開催

「EVOALLシリーズ」を発表

「進化」×「真価」×「深化」

2日間の日程で開催された東京会場では、初回セミナーの冒頭に江藤征弘社長が登壇した。江藤社長はコロナ禍前から、「次のステップに進まなければならぬ」という気概を持って、このことを明かし、製品開発に明け暮れていたことを回顧。5年ぶりに開催した本発表展示会で、新システム「EVOALL」（エヴォール）シリーズを発表した。

EVOALLは、「EVOLUTION ALL IN ONE SYSTEM」を起源とする造語。利便性、効率化、省力化を追求し、パチンコホールの売上と利益を最大化させるトータルソリューションを指す。江藤社長は「（本日ご覧いただく新製品は）まだ序章に過ぎない。今後はこのシリーズを育てあげ、お客様の声を具現化していきたい」と将来的に発展させる構想を示した。



江藤社長

冠する五つの新製品を出品した。一つ目は、「エヴォールクラウド」。従来の『総合管理システムV2』をクラウド仕様に進化させた。

特筆すべきは、標準搭載のAI機能を用いた「ワンクリックシミュレーション機能」だ。目標粗利を入力すると、AIが翌日の稼働を予測。機種別の全シミュレーションを実行する。このほかの「新台評価」、「会員アナライズレポート」、「撤去・増台候補」も高機能だ。

二つ目は「エヴォールセルフサービス」。データのバックアップや内部不正の抑止・発見、機器トラブルの監視に留まらず、リモートによるメンテナンスやバージョンアップが可能。不透明な専門スタッフがカメラ越しに即時対応する。

三つ目は「エヴォールスマートユニット」。液晶部が水平方向に180度転回する幅40ミリのスマホ・スマート専用ユニットだ。右置きも左置きも可。PS変更した場合でも、工事の必要がない。遊技台を開けずにユニットを引き出せる電子ロックも実装した。

四つ目は「エヴォールスマートセルフ交換機」。景品交換から

も対応する。

五つ目は「エヴォール接客サポートシステム」。新機能の「グループランク通知機能」は、会員の来店回数を自店だけでなく、グループ店にまで広げてカウント。ドミナント展開する場合には、グループとしての優良顧客を発見できる。

連動する「エヴォールスマートウォッチ」には、「MY顧客管理機能」を実装した。スタッフはウォッチで任意の顧客をお気に入り登録。稼働台番号から顧客カルテを参照できる。

これらエヴォールシリーズのほかに、時代のニーズを捉えた先端技術を参考出品した。キヤッシュレスシステム「MarsPay」（マースペイ）は、同アプリをインストールしたスマホがあれば、財布要らずで遊技が可能になる。このほか会員カード不要で景品交換できる「顔認証システム」も注目を集めた。景品交換以外にも申告プログラムの来店制限などに活用できる。

この催しは東京会場を皮切りに、名古屋、大阪、福岡でも異なる日程で行われた。

▲



72席が満席になったマースセミナー（初回）

客層データで読み解く最新の遊技機事情

各会場で開催されたマースセミナーでは、営業企画部販売促進グループの山本貴氏が講師を務めた。マース戦略データ(MSD)では一般的な台データに加えて、遊技客一人当たりの遊技データ(PL指標。客層データ)を用いてさまざまな分析を行っている。

例えば20円パチスロのアウト(24年5月)は、前年同月比3.2%増。売上も5.3%増と好意的に捉えられる。しかしPLアウトで見ると、それぞれ5.5%減、3.4%減と、異なる景色が見えてくる。

こうした中で山本氏は、一人当たりの遊技時間が低下傾向にあることや、コイン単価が高い機種の違い方に注意が必要であることを指摘。他方パチンコでは、ラッキートリガー搭載機を好む層の特徴を解説し、そうでない層への訴求が鍵になると力説した。



山本講師